教育体系とキャリア開発（看護実践能力習熟段階）

レベル新人

新卒

サポートを
受けながら実践

現場に適応し、看護実践者として安全・安楽・経済性を配慮した日常生活援助が、ｻﾎﾟｰﾄを受けながら、実践できる。

レベル Ⅰ

卒後概ね３年目まで/既卒新任者

根拠をもとに
自立して実践

重症心身障害児者看護の特徴を理解し、個々の利用者に適した看護を提供できる能力を身につけ、結果や危険を予測して、診療補助業務を安全に実施できる。

レベル Ⅱ

卒後概ね５年

良好なｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと
後輩のサポート

個別の状況に応じた判断と実践ができ、経験に応じた的確な判断ができる。
目標を持って行動し、キャリアデザインを描くことができる。

レベル Ⅲ

卒後概ね8年以上

専門性を発揮し
ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ後輩育成

幅広い視野で予測的に判断し看護実践を行い、役割モデルとなれる。
主体的に研修計画を立てキャリアアップできる。

臨床実習指導者
（厚生労働省指定）

レベルⅣ

ジェネラリスト
より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する。
重症心身障害看護師
（日本重症心身障害福祉協会認定）

スペシャリスト
特定分野において専門分野の知識やスキルを深め、専門性を発揮し、成果をあげることができる。
専門看護師
14分野
認定看護師
19分野

管理領域

管理者ラダー

係長
重症心身障害児者看護における実践の役割モデルとなるとともに、看護単位における管理上の問題に気づき、指導を受けながら管理行動がとれる。

課長
看護単位における管理能力を高めると共に、人材育成や看護業務の質的向上を図

重症心身障害児施設職員研修・各種研修等

各種資格習得・
各認定研修等

認定看護管理者研修等

ラダー別法人研修　・　学会　・　看護協会研修　・　ｅ－ラーニング研修等